

# えねなび

編集発行：ひた市民環境会議エネルギー部会  
事務局：日田市環境課  
(TEL)22-8208 / (FAX)22-8241

vol.1 特集「夏の省エネ」

2006年8月1日 発行

日田市は現在、全国環境首都コンテストの総合8位。みんなで省エネルギーを工夫して、日本の環境都市をめざしましょう

## クーラーをじょうずに使って節電しよう！

家庭にある電化製品の中で、一般的にいちばん電気を使っているものは何でしょうか。答はエアコンです。でも、ちょっとした工夫次第で、そう無理して快適さを犠牲にしなくても電気料金と二酸化炭素を減らすことができます。

私共ひた市民環境会議エネルギー部会では、このたびクーラーをできるだけ効率的に使うって節電することを呼びかけるチラシを作成しました。(チラシの内容は、2～3ページをご覧ください。)そして、ベスト電器と100満ボルトの日田店にご協力をいただき、6月24日にそれぞれのお店の前で、来店されたお客様にチラシを配布する啓発活動を行いました。

(参加した人の感想)

- ・初めてビラ配りを経験したけど、なかなか言葉が出てこなくて困った。
- ・若い人の中には受け取ろうとしない人が多かった。
- ・営業用のチラシと思って敬遠する人もいたかもしれない。パネルか、のぼりか、たすきなど、省エネの啓発とわかるものを用意すべきだった。
- ・駐車場にとめてある人のいない車がずっとエアコンつけっぱなしで、下に水がポタポタ落ちていたのが気になった。

【夏の省エネ啓発の様子】



100満ボルト日田店



ベスト電器日田店

## 今年もやりました！百万人のキャンドルナイト

6月21日の夜、日田市亀山町にあるアートカフェ「桃の木」で「100万人のキャンドルナイト」の催しがありました。これは、2003年から毎年夏至の夜に行っている催しで、電気を消してろうそくの明りの中で地球環境のことを考え、語り合ったり、共に音楽などを楽しんだりするもので、エネルギー部会も後援しています。【続きは4ページへ】

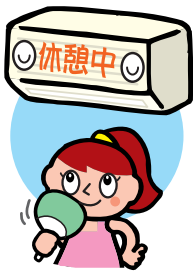
# 真夏のCO<sub>2</sub>ダイエット作戦 ～ クーラー篇 ～

## クーラーを使えば使うほど暑くなる悪循環!?

今年も日本一暑い(?)といわれる日田の夏がやってまいりました。日田盆地に住んでいる大部分の人たちにとっては冷房なしではとても過ごせない季節です。でも、クーラーを使えば確かに部屋の中は涼しくなりますが、その分だけ家の外は一層暑くなってしまいます。その上、クーラーが消費する電力をつくるために大量の二酸化炭素が発電所から排出されて地球の温暖化を加速させ、ますます夏は暑くなってしまいます。この悪循環を断つためには、クーラーをなるべく使わず、使う場合はできるだけ効率よく使って消費電力を少なくすることが大切です。



## クーラーのスイッチを入れる前に

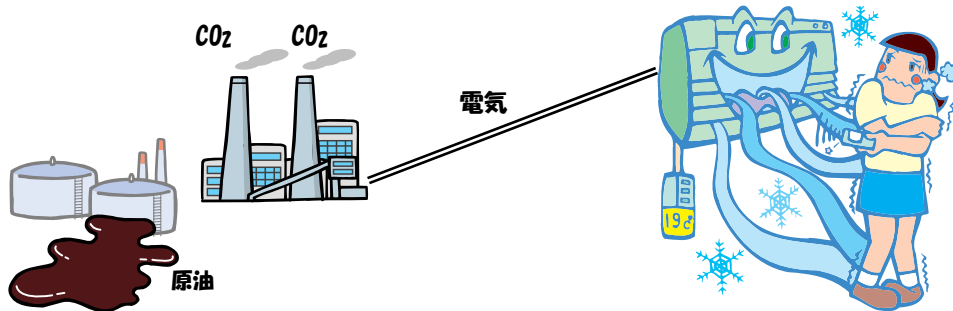


まずはできるだけ涼しい服装をする、窓の外によしずを置くなどして日光を部屋に入れない工夫をする、外に打ち水をして温度を下げるなど、機械の力に頼る前にできることを工夫しましょう。



## 冷房の設定温度は28℃を目安にしよう

冷房の効きすぎは電力の浪費につながる上、体にもよくありません。28℃というとまだ少し暑いようにも感じられますが、除湿機能を併用することで、この温度でも結構快適に過ごせます。また、不必要なつけっぱなしをしないよう、外出時などは気をつけましょう。ちなみにクーラー1台(2.2kW)の設定温度を27℃から28℃に上げると、ひと夏で原油 3.97 ㏩の節約になり、CO<sub>2</sub>が 5.9kg 削減されます。(外気温35℃、1日9時間使用の場合)



## 扇風機と併用してみよう

28℃では暑いと感じられる場合は扇風機と併用してみましょう。クーラーと扇風機を同時に使うのは省エネに逆行しているように感じられますが、扇風機の消費電力はあまり大きくないので、併用しても冷房温度を28℃に上げることによる節電効果の方が大きいのです。

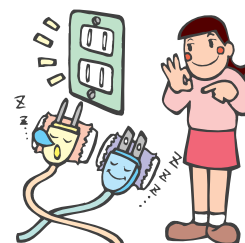


## フィルターはこまめに掃除しよう

フィルターにほこりが詰まっているとクーラーの効きが悪くなり、電力を余分に消費してしまいます。月に1～2回掃除することで節電を心がけましょう。

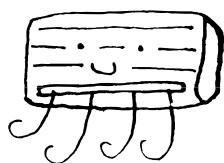
## シーズンオフにはプラグを抜いておこう

エアコンにはスイッチを入れなくても1日62Whの電力が常時流れています。春や秋の使わない季節にはコンセントからプラグを抜くことで待機電力をカットして節電しましょう。



## 買い換える時には省エネ型を買おう

古くなったクーラーを買い換える時にはできるだけ消費電力の少ないものを選びましょう。買う時には値段が高いと感じられても、年間の電気代を大幅に節約できるので、何年か使えば必ずお得です。環境にも優しく家計にも優しい買い物です。



**省エネ型は購入時には高く感じるけど、結局電気代はやすく済んだよね!!**

**日常の生活で省エネを気にしない人でも、購入時に気をつけるだけで、エコ生活!?**

日田市民環境会議エネルギー部会

事務局：日田市環境課(TEL 22-8208)

【 1 ページからの続き 】 今年、最初にエネルギー部会の甲斐部長から、夏の省エネの方法と原子力発電をめぐる現在の危険な状況についての話があり、その後店内の電気を消してろうそくに点灯、周囲は幻想的な雰囲気になりました。その中で、小学校教諭の小山さんから、チェルノブイリ原発事故から20年、今も続く現地の被害とその支援運動について、また水俣病の関係者の方々との交流活動について、現地報告をまじえたお話を聞きました。次いで、海外での活動経験が長い大原屋の財津さんから、ノルウェーの人々の暮らしと幻想的なオーロラや白夜などについての興味深い話があり、最後は浮羽のミュージシャンによる民俗楽器の演奏がありました。

夏至の一夜、ろうそくの明りによる非日常の雰囲気の中で、自らの暮らしと地球環境のことに思いをはせたひとときでした。

## クーラー不要の夏涼しい家！

日田市亀川町の高瀬幸男さん宅は夏でもクーラーなしで過ごされていると聞いて、どんな家にお住まいなのか6月24日に見学させていただきました。一見何の変哲もないごく普通の家なのですが、中にはいってみると、確かに風がよく通って涼しく感じました。見ると各部屋の壁にこまめに小窓のような小さな開口部がつけられていて、それを開くとどの方向の風でも家の中を通り抜けられるようになっています。高瀬さんが以前住んでいた家もとても涼しい家で、道路工事にかかって10年ほど前に移転新築した際にも通気性にはこだわって、小窓を開ける部分の設計は自ら手がけたそうです。このほか、天井が高く、天井と屋根の間も大きいこと（始めは二階建てにするつもりだったとのこと）、床が高いこと、表に小さな畑があり裏に小さな溝が流れていることも涼しさをもたらす要因のようでした。虫もあまり来ないそうで、川で草を焼いた灰を庭の木にまいていることと関係があるかも知れないとのことでした。



高瀬さんはクーラーを使わないことにこだわるつもりはなく、ちゃんと天井近くにコンセントを設けていて、いつでもエアコンを取り付けられるようにはしています。でも「やっぱり自然の風が気持ちいいし体にもいい」とのことです。これまでずっと付けないままで元気に夏を過ごしています。日田盆地のど真ん中に住んでいても、条件と暮らし方の工夫次第

でクーラーなしでも過ごせることを実感しました。これから家を建てようという人には大いに参考になるかと思います。

（参加した人の感想）

風の道を利用した引き戸などは大変参考になりました。我が家もクーラーは使わないのですが、虫が多くて困っています。

---

《編集後記》ひた市民環境会議は、住民と行政との協働で環境を大切にする日田のまちづくりに取り組もうという市民有志の団体です。その中でエネルギー部会は地球温暖化を防止するために省エネルギーの推進や自然エネルギーの利用促進について考え活動しています。ニュースレターを発行することは初めての試みですが、読んでくださった方に何かひとつでも有意義な情報をお届けできればと思います。読んでみてのご意見・ご感想を事務局あてにお寄せいただければ幸いです。なお、「えねなび」というタイトルは、エネルギーのナビゲーターという意味を込めています。